

NEWS *Club* OA

第9号

**明日のAIパートナー
私が思い描く1年後の姿**

～西田専門家が語る明日の生成AI～

西田企画

生成AIコンサルタント
DX/AIアドバイザー

西田 善紀



2024年9月9日発行

題目：明日のAIパートナー - 私が思い描く1年後の姿

西田専門家が語る明日の生成AI

こんにちは、AIの研究と実践に携わっている西田です。今日は、生成AIの未来について、私なりの考えをお話ししたいと思います。特に1年後の姿について、皆さんと一緒に想像を膨らませていけたらいいなと思っています。

1. AIと人間、二人三脚の未来

日々AIの進化を目の当たりにしていると、その可能性に胸が躍ります。でも同時に、人間の役割はどうなるんだろう、なんて考えることもあるんですよ。

1年後、AIはもっと私たちの生活に溶け込んでいくと思います。例えば、医療現場では診断のサポートをしたり、学校では生徒一人ひとりに合わせた学習プランを提案したり。でも、急激な変化というよりは、ゆっくりと、でも着実に進んでいくんじゃないでしょうか。

私が特に期待しているのは、AIと人間が協力し合える場面が増えていくことです。AIが得意な分析や予測を担当し、人間は創造性や判断力を発揮する。そんな二人三脚の未来が、もう目の前まで来ているんです。

2. 企業のAI導入、慎重に、でも前向きに

最近、多くの企業からAI導入について相談を受けるんですが、皆さん期待と不安が入り混じっているようです。私がいつもアドバイスするのは、「焦らずに、小さな一歩から」ということ。

ある中小企業の例を紹介しましょう。ここでは、まず1つの部署で簡単なAIツールを試してみることにしたんです。「スモールスタート」ですね。面白いのは、導入前に全社員と何度も話し合いの場を設けたこと。AIへの不安や期待、疑問点をじっくり聞いたそうです。

結果はどうだったか...というと、予想以上にうまくいったんです。社員の理解が深まり、AIツールの使い方にも工夫が生まれた。納得いくまで話し合うことで、AIと人間の良いバランスが見えてきたんですね。

こういった賢明なアプローチを取る企業が、1年後にはもっと増えているんじゃないかな。技術と人間の調和、それは小さな一歩と、心を開いた対話から始まるんです。

3. AIの未来、バラ色？それとも...

AIの未来について、世間の見方は二つに分かれているように感じます。「AIで全てが解決する！」という楽観的な声がある一方で、「仕事が奪われる」「プライバシーが侵害される」といった不安の声も。

正直なところ、私はその中間かな。AIには大きな可能性がありますが、同時に慎重に扱うべき課題もある。例えば、AIによる意思決定の透明性や、データの扱い方には気をつけたいといけません。

でも、こういった議論が活発になるのは、とても健全なことだと思うんです。1年後には、もっとバランスの取れた見方が広まっているんじゃないでしょうか。AIの長所を活かしつつ、課題にもしっかり向き合う。そんな成熟した社会になっていくことを、私は期待しています。

4. AIと共に、人間らしさを再発見

面白いことに、AIが進化すればするほど、「人間にしかできないこと」が明確になってくるんです。創造性、感性、人と人とのつながり...こういった要素が、これからもっと大切にされるようになると思います。

芸術の世界を例に挙げましょう。AIが技術的なサポートをする一方で、人間の感性や創造性がより一層輝くようになる。ビジネスの現場でも同じです。データ分析はAIに任せつつ、そこから何を読み取り、どう行動するかは、人間の直感や経験が重要になってくる。

1年後、私たちは「AIにできること」と「人間にしかできないこと」をより明確に理解し、お互いの強みを活かせるようになっていくはず。そう考えると、ワクワクしませんか？

5. AI時代の「学び」のカタチ

「AIリテラシー」って聞くと難しそうですね。でも要は、「AIとうまく付き合う力」のこと。これからの1年、この力を身につける機会が増えていくと思います。

例えば、小学校ではプログラミング教育が始まっていますが、近い将来、AIの基本的な仕組みや活用方法を学ぶ授業が登場するかもしれません。社会人向けの研修でも、AIツールの使い方だけでなく、AIと協働するためのコミュニケーション能力やクリティカルシンキングを養うプログラムが増えていくでしょう。

大切なのは、好奇心を持って学び続けること。AIを使いこなせる人と、そうでない人の差は開いていくかもしれません。でも、焦る必要はないんです。一歩ずつ、楽しみながら学んでいく。それが、AI時代を生き抜くコツだと私は考えています。

6. 生成AI、組織変革の味方

最後に、私の信念をお伝えしたいと思います。

『生成AIは、戦略的組織変革のエンジンです。』

難しく聞こえるかもしれませんが、要するにこういうことです。生成AIは単なる便利ツールではない。組織全体を見直し、より良い方向に変えていく、そんな大きな可能性を秘めているんです。

例えば、今まで時間がかかっていた作業が効率化されれば、その分新しいアイデアを生み出す時間が増える。AIとの協働を通じて、私たち人間にしかできない創造的な仕事の価値が高まる。そう考えると、ワクワクしませんか？

生成AIは「変革のきっかけ」なんです。でも、その変革の主演は私たち人間。AIを上手に活用しながら、組織をより良くしていく。そんな未来が、もう目の前に広がっています。

1年後、私たちはどんな景色を見ているのでしょうか。きっと今よりもっと豊かで、創造的で、そして人間らしさにあふれた世界が待っているはずです。その世界を作り出すのは、他でもない私たち一人一人。

AIという新しい仲間と共に、私たちにしかできない未来を描いていく。そんな素晴らしい冒険の旅が、今まさに始まろうとしているのです。さあ、一緒に一歩を踏み出してみませんか？きっと、想像以上にワクワクする未来が待っていますよ。

さて、ここまで私の話を文字起こししていただいたのですが、読み返してみると少し読みづらい箇所もあったかもしれません。話し言葉をそのまま文章にすると、どうしても整理されていない部分が出てくるものですね。それでも、私の熱い思いは伝わったでしょうか？

最後に一つ。もし皆さんの中で、AIについてもっと詳しく知りたい、あるいは直接話を聞いてみたいという方がいらっしゃれば、私はよくセミナーや講演会に登壇しています。どこかの会場でお会いできる日を、心から楽しみにしています。その時は、AIの未来について、もっとじっくりお話しできればいいですね。

それでは、AIとともに歩む明るい未来に向けて、共に頑張っていきましょう！